

## 「会話力の向上方法」

齋藤一成

### ・導入

中国に来て2か月がたち、周りの中国人に「中国語うまくなったね!」とよく言われるようになりました。自分でも9月1日に太原についたときより格段に中国語のレベルが上がったことを実感しています。私にとって「中国語ができる」というのは、中国語で会話ができるということです。私が中国に来たのは中国語を話せるようになるためです。話せるようになるには話す機会を増やすしかありません。私はもともと面倒臭がりであり友達を積極的に作る方ではないです。今回は、面倒臭がりの私でもできた、太原で中国語を話す方法をいくつか紹介したいと思います。

### 1. 先生と話す

留学生活において一番身近な中国人は先生です。その中でも王剛先生が一番よく話してくれる先生です。日本に留学経験があり、日本語の簡単な会話が可能です。はじめは、日本語を交えながら王剛先生と話してなんとか中国語で会話が成立するレベルになれました。私にとって休憩時間に王剛先生と一緒にタバコ吸いながら勉強や生活のことを話す時間が中国語上達の上でとても大事でした。話しかけると喜んで話してくれて、間違いもすぐ指摘してくれるので積極的に話しかけてみることをお勧めします。

### 2. 友達と話す

中国に来てから初めの二か月間、私は中国人の友達が一人もいませんでした。これはまずいと思い、中国伝統文化サークルに入り、日本語学科の学生と友達になりました。しかしこれはうまくいきませんでした。なぜなら日本語学科の学生は日本語を使いたがるからです。WeChat 内での文章も全部日本語で、中国語で話しかけても日本語で返ってきます。これでは私たちの勉強にはなりません。

私個人の見解としては、中国語の練習相手は、「ドラマやアニメでちょっと日本語話せるようになった」程度の方がちょうどいいと思います。

友達は自分の趣味にあった人がいいと思います。私はゲームと漫画が好きなので、同じ趣味の中国人を人づてで探し友達になりました。彼は日本語学科ではなくインターネットビジネスが専門でした。彼やほかの中国人と一緒にゲームをしたり、たまに日本語を教えたりして、楽しく中国語の実践練習ができています。ですので、同じ趣味の友達を作ることが大事だと思います。学校にいる中国人は、アニメやゲームが好きな人が多いです。もしあなたもアニメやゲームが好きなら友達を作りやすいと思います。そうでなくても、中国人はサッカーやバスケットボールやバドミントン、ダンスなども好きなのでつながり方はたくさんあります。

### 3. タクシーの運転手と話す

最初の二か月は中国人の友達もいなく、中国語を話す機会がありませんでした。私たちの宿舎である商務学院と山西大学はドアトゥードアで 1 時間の場所にあります。ですので、めんどくさがりの私はよくタクシーを呼んでいました。片道 300 円くらいで乗れるのでとても安いです。

私はこのタクシーの運転手と話すことである程度中国語を話せるようになりました。私たち日本人は中国人と顔が同じなので、向こうは中国人だと思って世間話をしてくれます。話していくうちに外国人だとばれてしましますが、日本人だと言うと珍しがって日本のことについていろいろ聞いてきてくれます。私は週に 2 度だけ山西大学に用事があったのでそのたびにタクシーを呼び中国語を話す機会を作っていました。30 分間 2 人きりなので話す時間も長く結構会話の勉強になっていたと思います。タクシーを呼ぶときは DD というアプリが安くて速いのでお勧めです。使い方は周りの留学生が教えてくれます。

#### ・最後に

授業では基本的にインプットが中心です。先生が一方向的に話すので中国語のアウトプットをする機会は意外と少ないです。中国に来たのに中国語を話す機会が少ないというのは留学生の最大の悩みです。自分の趣味や興味が同じ人を探して定期的に話したほうがいいと思います。

皆さんのご参考になれば幸いです。次回は中国語学習第 2 弾として HSK 試験について書きたいと思います。